

# 在宅医療懇話会検討結果整理シート

【テーマ】 医療資源の充実

圏域名： 豊能圏域

(平成 28 年 7 月 1 日 現在)

医療資源	現状	課題	提案・要望
地域医療支援病院	合計5 吹田市 2 能勢町 0 池田市 1 豊能町 0 豊中市 1 箕面市 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療を支援する体制を整えている病院を増やすための方策を検討する。</li> <li>・診療所との連携を強化することが、互いのメリットになる。</li> </ul>
在宅療養支援病院	合計5 吹田市 1 能勢町 0 池田市 0 豊能町 0 豊中市 3 箕面市 1		
在宅療養 後方支援病院	合計2 吹田市 2 能勢町 0 池田市 0 豊能町 0 豊中市 0 箕面市 0	在宅医療を推進していくためには、後方支援が不可欠だができていない。	
在宅療養支援診療所	合計 吹田市 0-9-48 能勢町 0-1-2 2-27-166 池田市 0-1-22 豊能町 0-1-2 豊中市 2-11-71 箕面市 0-4-21(支援診 1-2-3)	届け出をしていますが、実際に在宅医療に対応している診療所が少ない。	・現在外来で診ている患者が通院困難となった時、継続して訪問診療を行う。
在宅療養支援 歯科診療所	合計82 吹田市 40 能勢町 0 池田市 7 豊能町 2 豊中市 24 箕面市 9	在宅に取り組む歯科医師が少ない。	
在宅患者訪問 薬剤管理指導料 届出薬局	合計 360 吹田市 111 能勢町 1 池田市 42 豊能町 6 豊中市 146 箕面市 54	届け出している薬局は多いが、実際算定している薬局は 4~5 割程度と少ない。	ケアマネジャー等に薬剤師の役割について周知を図る。
訪問看護ステーション	合計 101 吹田市 28 能勢町 0 池田市 15 豊能町 2 豊中市 44 箕面市 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足。</li> <li>・小規模が多く、登録しては潰れている。</li> <li>・大規模化しても分裂する。</li> </ul>	・大規模のステーションが、小規模を支援する。(どう支援していくかは課題)

【テーマ】 緊急時対応 24 時間提供体制、診療所等への後方支援

圏域名： 豊能

(平成28年7月 1 日現在)

	現状	課題	提案・要望
<p>緊急時対応 24時間提供体制</p> <p>診療所等への 後方支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊能圏域内で在宅療養後方支援病院として登録している医療機関は吹田市の 2 機関。</li> <li>・在宅医療を担う医療機関が少ない。</li> <li>・24 時間対応できる訪問看護ステーションは増加しているが、小規模のステーション多い。</li> <li>・医療依存度が高い単身要介護者の在宅復帰が困難。</li> <li>・複数の診療科目に受療している場合、多職種が関わる場合の情報共有ができていない。</li> <li>・退院前カンファレンスが十分行われることなく退院する場合がある。</li> <li>・在宅患者を非医師会員が診ている割合多い</li> </ul> <p>【豊能町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後方支援の仕組みはできていないが、箕面市や川西市の病院に送られている。</li> </ul> <p>【能勢町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24 時間対応必要な人は施設に入っている。</li> <li>・国保診療所の後方支援は市立池田病院。</li> </ul> <p>【豊中市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地域で WG を設置し、後方支援システムづくりや継続して在宅医療を提供できる体制づくり、地域包括ケア病床を有する急性期病院との連携強化に努めている。</li> </ul> <p>【吹田市】・在宅医療・介護連携推進事業協議会を設置し、医療と介護の連携を強化、在宅医療推進の環境づくり、かかりつけ医の定着促進を目指している。</p> <p>【池田市】 現状をつかめていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療を推進していくためには、後方支援が不可欠だができていない。</li> <li>・在宅医療を担う医療機関が少ない。</li> <li>・在宅診療医、訪問看護師の人材確保。</li> <li>・レスパイト入院やバックベッドの確保。</li> <li>・医師・関係者の連携が不十分。</li> <li>・情報共有の方法(ICT)が未整備。</li> <li>・退院支援システムの構築が不十分。</li> </ul> <p>【豊能町、能勢町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者がピークになった時、資源は不足するが、それ以降の人口減を考えると増やせない。</li> <li>・費用対効果を考えると、民間サービス等の誘致が困難。</li> <li>・医療資源や介護サービスは広域で利用できるような仕組みが必要。</li> <li>・兵庫県・京都府に隣接しており、豊能圏域の医療資源だけでは後方支援を受けにくい。</li> </ul> <p>【豊中市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地域で参加可能な病院・診療所、モデルケース登録者が少ない。</li> </ul>	<p>【各診療所、病院への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在かかりつけ医として診ている患者が通院できなくなった場合、継続して対応する。</li> <li>・夜間のみ規模の大きい病院が対応するなどかかりつけ医と病院が連携する形もある。</li> </ul> <p>【府への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200 床以上ある病院が積極的に在宅療養後方支援病院として届出するよう呼びかける。</li> <li>・レスパイトとバックアップ用に病院の数床を空床として確保し、空床分について補助金を充てることができないか。</li> <li>・非医師会員で在宅医療を行う医師の実態が把握できないため、大阪府より情報提供してほしい。</li> </ul> <p>【豊中市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムに参加可能な診療所・病院を増やす。介護支援専門員に対してシステムの周知を図り登録者を増やす。</li> </ul>

